

平成 30 年度 事業報告

一般社団法人 日本病院寝具協会

1. はじめに

平成 30 年度は 6 月の「大阪府の北部地震」に始まり、全国的に異常に早い梅雨明けと同時に「命に危険が生じる暑さで（災害）という認識」の警告が気象庁から発せられるほどの連日の猛暑と熱中症危機が続き、更には連続して甚大な水害被害をもたらした「平成 30 年 7 月豪雨」及び「台風 21 号」、そしてこれら災害の復旧作業も終わらぬ中、9 月 6 日には、「北海道胆振東部地震」による激甚災害と、まさに日本列島を南から北へ縦断する大災害が発生いたしました。

さて、世界経済の減速や国内の消費低迷が相も変わらず続いている社会情勢の中、我々業界にとって大きな朗報が一つ飛び込んでまいりました。平成 30 年 11 月 13 日付で法務省、厚生労働省省令第 4 号の「外国人技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則の一部改正」により、長年の悲願でありました「リネンサプライ職種リネンサプライ仕上げ作業」が外国人技能実習制度の 2 号移行対象職種に認定されました。

併せて、一般社団法人日本リネンサプライ協会が、リネンサプライ職種の技能実習評価試験を行う試験実施機関となりました。

今後、当協会といたしましては、会員の方々に外国人技能実習制度についてより深く熟知していただくとともに制度の適正な運用に努めていただくようお願いするところであります。

我が国あるいは我々業界を取り巻く情勢は非常に厳しいものではありますが、当協会では、これまで以上にお客様に少しでも安心・安全で衛生的な寝具類を提供できるよう平成 30 年度は、次のような事業活動に重点的に取り組んだところであります。

2. 平成 30 年度の主な事業活動

(1) 公益目的事業(実施事業等会計)

ア、寝具類の質的向上事業(継続事業 1)

(ア) 海外医療寝具事情調査事業(隔年実施)

平成30年度はフランスにおける医療寝具事情の調査・研究を行うこととし、平成30年8月30日(木)～平成30年9月7日(金)の9日間、参加者は25名で実施いたしました。

なお、当該調査・研究の結果を、報告書に取り纏めたほか、当協会のホームページにも掲載しております。

(イ) 環境衛生研究事業

「全国クリーニング生活衛生同業組合連合会」と協同して、洗濯衛生について、毎年度調査・研究を行っており、平成30年度も引き続き「クリーニングと公衆衛生」について研究を行いました。

なお、当該調査・研究の結果を、報告書に取り纏めたほか、当協会のホームページにも掲載しております。

(ウ) 情報提供事業(リネット発行)

広報誌「Lin-Net」の発行については、海外医療寝具事情調査の概要の掲載、会員及び地域における著名な病院の紹介、衛生検査合格工場の掲載、その他、協会事業で特記すべき事項等について、会員及び受託医療機関等に情報を提供し、業界における寝具類の質の向上等に努めており、平成 30 年度は、第37号(平成 30年 5月)及び第 38 号(平成 30年 11 月)の年 2 回、各 30,000部を発行いたしました。

イ、寝具類の提供体制確保事業(継続事業 2)

(ア) 寝具類衛生検査事業

寝具類の衛生検査については、当協会の「病院等寝具類の洗濯施設における衛生自主基準」に基づき、毎年、春、秋の年 2 回実施しており、平成 30 年度もお客様に衛生的で安心・安全な寝具類を提供できるよう衛生検査を実施いたしました。

また、年 2 回の当該衛生検査に合格した工場には「平成 30 年度衛生基準認定証」を交付するとともに、当協会の広報誌「Lin-Net」第 39 号(平成 31 年 5 月号)に工場名を掲載いたしました。

(イ) 病院寝具管理士認定講習会実施事業

病院寝具管理士認定講習会の実施については、受託洗濯施設における指導者の育成を目的として、毎年度開催しており、平成30年度は、第25回「病院寝具管理士認定講習会」を平成30年10月24日(水)～10月25日(木)の2日間、大阪で開催いたしました。

本講習会には、会員、非会員合わせて99名が受講し、受講者99名全員に病院寝具管理士の「認定証」を交付いたしました。

(ウ) 医療関連サービスマーク認定審査等受託事業(申請書審査等)

(一財) 医療関連サービス振興会の委託に基づき実施している㊦マークの認定に係る更新及び新規申請書の受付審査並びに実地調査(年3回)については、各支部の協力により平成30年度は、新規・更新合わせて41ヶ所(うち会員は23ヶ所)を実施いたしました。この結果、認定施設累計は251ヶ所(うち会員は192ヶ所)となりました。

(エ) 業務代行保証事業(業務代行保証会計)

当協会の重要な事業である「病院等における寝具類の洗濯及び関連業務に係る受託業務の代行保証」については、平成30年度は、本部・支部合わせて29,671件(前年度29,808件)の代行保証を行いました。

また、平成30年度においては工場火災による業務代行の実施があり、業務代行費用の支払いが1件ありました。

(2) 一般事業(その他会計、法人会計)

ア、病院等寝具類部門及びその周辺業務部門の市場調査について

平成14年より調査している病院等寝具類部門及びその周辺業務部門の売上状況等の市場調査については、平成30年においても、引き続き実施いたしました。

調査結果がまとまり次第「日病寝だより」に掲載いたします。(調査対象期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日)

イ、寝具類洗濯施設の連洗等洗濯機の洗浄・消毒の実施状況調査について

連続式洗濯機の洗浄については、各工場において、当協会の「連続式洗濯機ラインの機器洗浄に関するガイドライン」に基づき、毎年度実施しており、平成30年度においては、平成29年度の洗浄・消毒の実施状況調査の結果について検討を行いました。

ウ、 過酢酸による消毒方法について

我が国における寝具類の消毒方法は、国の衛生基準により定められていますが、欧州などで一般的に行われている過酢酸による消毒方法は、現在のところ認められておりません。

このため、コストの削減やCO₂排出の低減にも役立つ、過酢酸による消毒方法について、平成29年度までの間、専門委員会において、その有効性、安全性、経済性等の検討及び実地検証などを積重ねてきました。

平成30年度では、これらの成果を取りまとめ、国に対し過酢酸による新しい消毒方法の認可申請に向けた準備を整えることができました。

エ、 広報誌の発行について

協会の動向、活動状況等の報告及び情報提供を目的とした会員への広報誌「日病寝だより」については、平成30年度は、第44号(平成30年7月)、第45号(平成30年10月)、第46号(平成31年2月)の年3回発行し、会員事業所へ配布いたしました。

オ、 協会会員の相談について

理事長を委員長として、5委員会の委員長により構成する特別委員会において、会員の悩み事の相談にお応えする他、業界の諸問題について検討を行いました。

カ、 講演会等の開催について

平成30年6月7日(木)の定時総会時に「医療制度改革の動向及び展望」と題して講演会を開催いたしました。

3. 組 織

平成30年度においては、下記のとおり、正会員1社の退会及び賛助会員2社の入会と3社の退会があり、会員数は正会員143社、賛助会員57社となりました。

正会員

(1) 退会

退会正会員名	所在地	退会日
日商リネンサプライ株式会社	栃木県	平成31年3月31日

賛助会員

(1) 入会

- 平成30年4月1日入会(1社)
ジェンセン・ジャパン株式会社
- 平成30年5月1日入会(1社)
株式会社ナガオカ

(2) 退会

- 平成31年3月31日退会(3社)
エレクトロラックス・ジャパン株式会社
大王製紙株式会社
株式会社松本日光舎

4. 諸会議開催状況

(1) 定時総会

平成30年6月7日

① 報告事項

- ア 平成29年度事業報告に関する件
- イ 平成30年度事業計画及び収支予算に関する件
(理事会承認事項)
- ウ 各委員会の活動状況報告に関する件

② 審議事項

- 第1号議案 平成29年度収支決算(案)承認に関する件
- 第2号議案 平成29年度公益目的支出計画実施報告書(案)承認に関する件
- 第3号議案 役員改選に関する件